

エルシーブイ FM 第 66 回放送番組審議会

1. 日時 2018年1月22日(月)13時30分から14時30分

2. 場所 諏訪市四賀 エルシーブイ株式会社 本社

3. 出席者 委員定数 6名

出席委員 5名

宮坂 徹 委員長

佐久 秀幸 副委員長

松崎 寛 委員

熊澤 純平 委員

宮坂 ちとせ 委員

欠席委員 1名

酒井 裕子 委員

放送事業者側 4名

吉澤 君弘 取締役社長

佐久 章展 放送制作部部長

小池 利幸 放送制作部 FM 制作課長

八幡 聡 放送制作部企画広告課長

中島 裕子 放送制作部 FM 制作課

4. 議事次第

- ・番組審議会 宮坂徹委員長より開会の挨拶
- ・「いざという時の安心ラジオ」について審議

5. 議事の概要

【審査番組】

大きな被害が発生した場合、情報伝達の媒体としてラジオがあります。東日本大震災や中越沖地震、熊本地震などでは、自治体からの情報を伝えるために「臨時災害放送局」が開局しました。

諏訪地域の場合は、このエルシーブイFMがその臨時災害放送局としての役目を担うことが想定されます。

今回、諏訪広域連合(諏訪6市町村)、信越総合通信局等の協力で開局訓練、情報伝達訓練として放送しました。

「いざという時の安心ラジオ」に関する、主な意見としては

- ・ 有事の際には電波は対応できて良い
- ・ ラジオで情報が聞ける安心感がある
- ・ 実際に当日の放送を聞いて、役立つと感じた
- ・ LCVの地域における存在意義が分かった
- ・ アナウンサーも出演者も聞きやすい話し方だった
- ・ 情報伝達のところでは繰り返していたところが良かった
- ・ 道路の名称などは住民たちが分かりやすい様に伝えてほしい
- ・ 地名の読みは難しいため原稿にルビがふってあるといい
- ・ 物流の情報があればよい、またどこから情報を得ることができるか確認してみてもいい
- ・ 日常の中で、災害に備えるための準備をアナウンスしてほしい
- ・ 訓練は様々なパターンで繰り返し行ってほしい
- ・ 実際はラジオから情報を伝えられるのは災害発生から1日から2日後になると思うので、情報が得られるまでの行動などを日頃からアナウンスしたらどうか（自助等について）
- ・ 災害情報を伝える市町村の順番が分からない
番組内では情報を出す市町村の順番を最初に伝えてほしい
- ・ 大勢の人が「自分だけは災害に遭わない」と思っている
意識の改善をしてほしい
- ・ 災害時に市町村がLCV-FMにどうやって情報を出すのか
ホットラインの確保など検討が必要

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。